

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 3 月 5 日(2024.3.5)

【国際公開番号】 WO2022/255301
【出願番号】 特願 2023-525818(P2023-525818)
【国際特許分類】
A 61 F 13/53(2006.01)
A 61 F 13/537(2006.01)

【F I】

A 61 F 13/53 3 0 0
A 61 F 13/537 2 1 0
A 61 F 13/537 2 2 0
A 61 F 13/537 3 2 0
A 61 F 13/537 3 1 0

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 11 月 27 日(2023.11.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0019
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0019】

20

図 1 は、吸収性物品 100 の一例を示す断面図である。図 1 に示す吸収性物品 100 は、吸収体 10 と、コアラップ 20 と、液体透過性シート 30 と、液体不透過性シート 31 と、を備える。吸収性物品 100 において、液体不透過性シート 31、コアラップ 20 により外周を覆われた吸収体 10、及び、液体透過性シート 30 がこの順に積層されている。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0035
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0035】

コアラップ 20 は、例えば、吸収体 10 の外周を覆うように配置されている。吸収体 10 は、コアラップ 20 の中に配置されている。コアラップ 20 としては、ティッシュ、不織布等が挙げられる。コアラップ 20 は、例えば、吸収体 10 と同等の大きさの主面を有している。図 1 に示される吸収体 10 は、コアラップ 20 の中に封入することにより、保形されている。コアラップによって吸収体を保形する方法はこれに限られず、例えば、上下個別 2 枚のコアラップで吸収体を挟んでもよいし、コアラップが袋体を形成し、その内部に吸収体が配置されてもよい。

40

50